



高次脳機能障害家族交流会が開催されました



平成30年6月8日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族、支援者が参加し、日頃の苦労や悩みを話して、思いを共有する場となっております。

交流会に参加することで、他の参加者の体験談を聞いたり、時にはミニ講座で勉強しながらつながりを深め、お互いの励みとしていただければ、と思っております。

今年度に入り第1回目の交流会を開催したところ、11名の方が参加してくださいました。この家族交流会では、高次脳機能障害ピアサポートチームセタの代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、「家族交流会に参加された動機や、家族及び当事者・支援者が最近感じていること」をテーマに、それぞれ違った立場で日頃抱えている思いを自由に話していただき、参加者で共有しました。

○今回の交流会の中では、今までは障害福祉サービスを利用していなかったが、実際に利用してみたら家族の精神的・身体的負担が軽減されたという体験談や、本人が障害を認識できず、車の運転に関して家族が苦慮しているなどの話があり、参加者同士で接し方の工夫について情報交換をされていました。

★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

参加者の話を聞き、自分も経験してきたことがよみがえりました。当時、「どんな障害があっても生きてさえいてくれれば」と思ったけれど、こんなに過酷な事態が待っているとは思いませんでした。高次脳機能障害は身体の障害と違って、なかなか他の人に理解されにくく、家族のつらさを分かってもらえません。

同じ悩みを持つ家族と気持ちを共有し、とにかく家族自身が元気になり、自分の人生を大切に生きることを心がけていきましょう。



病気でも事故でも、この障害を家族が隠してしまっている。皆で頑張っていきたい。



今後のこともよく考えて進めていきたい。

他の家族にも交流会の参加を勧めようと思った。

これまでの参加者の声

次回の交流会も、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班
TEL：0229-87-8011（直通）